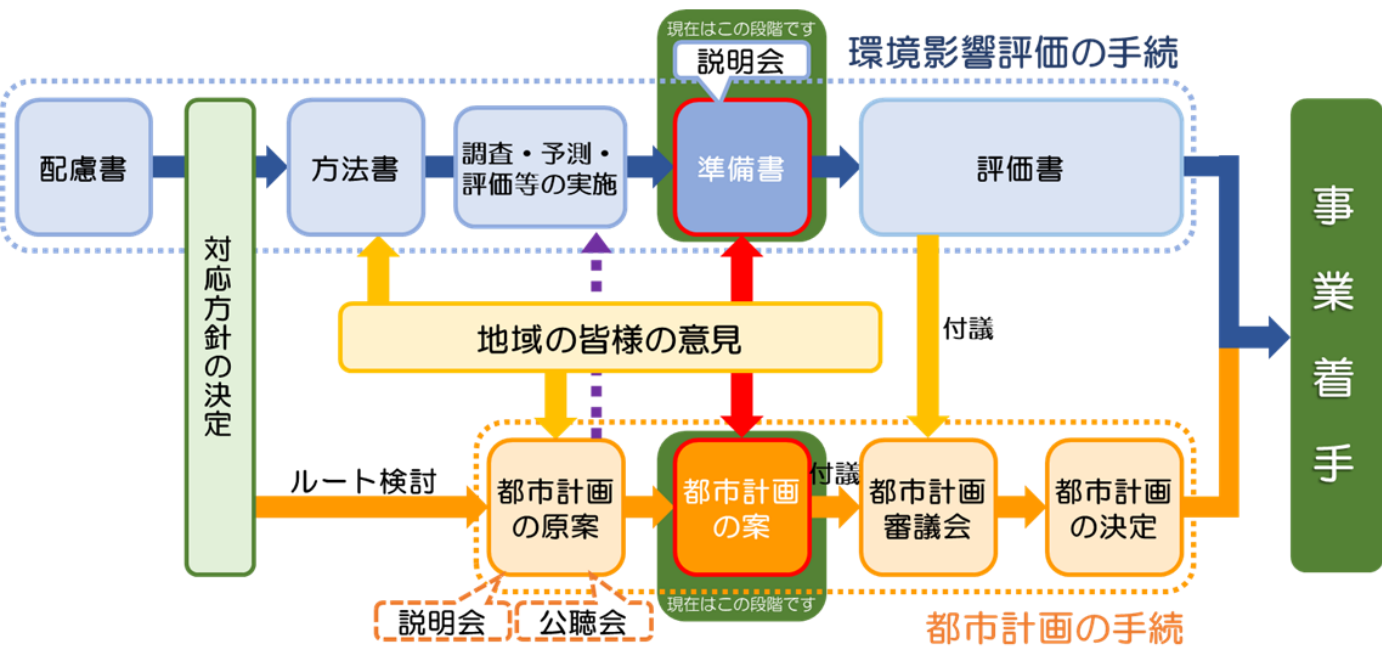


準備書について／これまでの経緯と今後の手続き

「環境影響評価準備書（準備書）」は、「環境影響評価方法書（方法書）」の手続きを経て実施した環境調査の結果や、大気質、騒音、水質、水象、動物、植物などの環境に与える影響の予測の結果、環境への影響を踏まえ講じようとする環境保全措置、これらの結果を踏まえた環境影響評価の結果等について取りまとめたものです。

今後は、準備書に対し頂いた意見の内容を検討し、必要に応じて準備書の内容を見直した上で、最終的に評価書を確定し、都市計画決定の告示と同時に公告・縦覧します。評価書の公告及び都市計画決定の告示をもって、事業着手にあたっての環境影響評価及び都市計画決定の手続きは終了します。



環境影響評価の項目

環境影響評価を行う項目は、事業や地域の特性から、環境に影響を及ぼすおそれのある要素を抽出し、専門家等による技術的助言及び環境影響評価方法書の手続き結果を考慮して選定しました。

環境要素の区分 影響要因の区分		① 大気質		② 騒音	③ 低周波音	④ 振動	⑤ 水質	⑥ 水象	⑦ 地形及び地質	⑧ 日照障害	⑨ 電波障害	⑩ 動物	⑪ 植物	⑫ 生態系	⑬ 景観	⑭ 人と自然との 触れ合いの活動の場	⑮ 文化財	⑯ 廃棄物等
		浮遊粒子状物質	二酸化窒素及び粉じん等															
工事の実施		●	●	●		●	●	●	※			●	●	●			●	●
土地又は 工作物の 存在及び 供用	道路の存在							●	※	●	●	●	●	●	●	●	●	
	自動車の走行	●		●	●	●										●		

●: 環境影響評価項目
※: 長野県のみ

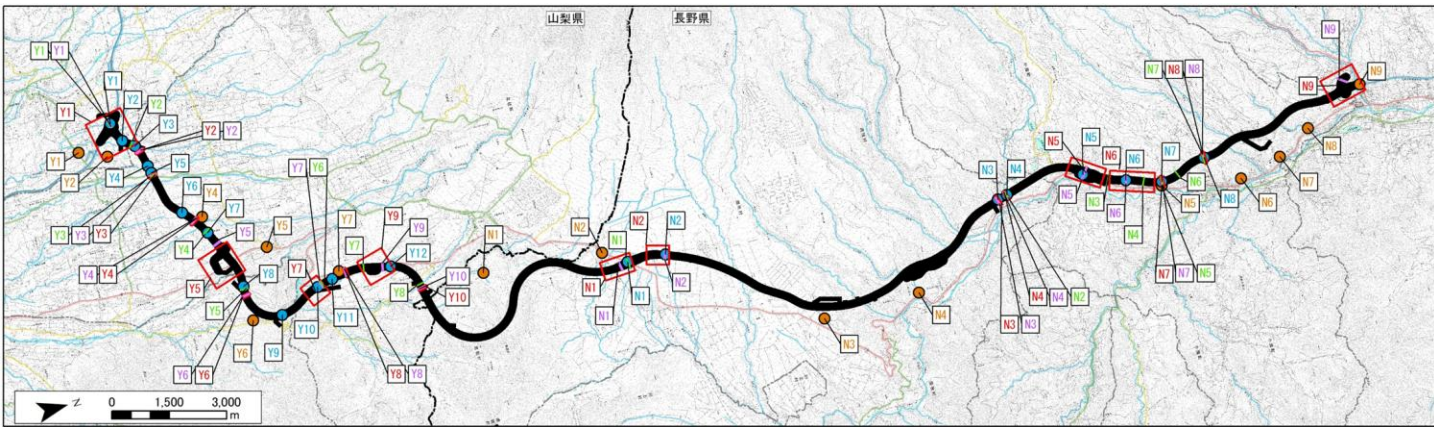
調査・予測・評価の手法

調査・予測・評価の手法は、以下に示すとおりです。

環境要素の区分		調査の手法	予測の手法	評価の手法
①大気質	二酸化窒素、浮遊粒子状物質	二酸化窒素、窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の濃度の状況、気象（風向及び風速、日射量、雲量、気温、湿度）の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	ブルーム式及びパフ式による計算	環境保全についての配慮が適正になされているかについて、見解を明らかにすることにより評価 環境基準等との整合が図られているかどうかについて評価
	粉じん等	気象（風向及び風速、日射量、雲量、気温、湿度）の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	季節別降下ばいじん量を予測	
②騒音	騒音	騒音の状況、地表面の状況、沿道の状況について、現地調査を行う。	音の伝搬理論に基づく予測式による計算	
③低周波音	低周波音	住居等の位置について、既存資料調査及び現地調査を行う。	既存調査結果より導かれた予測式による計算	
④振動	振動	振動の状況、地盤の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	振動の伝搬理論に基づく予測式による計算、振動レベルの80%レンジの上端値を予測するための式による計算	
⑤水質	水の濁り	水質（浮遊物質質量等）の状況、水象（流量等）の状況、水底の土砂の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	事例の引用又は解析による予測	
	水の汚れ	水質（水素イオン濃度）の状況、水象（流量）の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	事例の引用又は解析による予測	
⑥水象	河川及び湖沼	流量、流況、浸食・堆砂の状況、水道水源の状況、ため池の状況（山梨県）について、既存資料調査及び現地調査を行う。	事例の引用又は解析による予測	
	地下水	地下水の状況、帯水層の地質・水理の状況、湧水の状況、温泉の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	事例等の引用による定性的な手法、又は必要に応じて理論モデルによる計算あるいは数値シミュレーション	
⑦地形及び地質※	重要な地形及び地質	地形及び地質の概況、重要な地形・地質の分布、状態及び特性、重要な現象（温泉、湧水等）の分布、状態及び特性について、既存資料調査、現地調査及び聞き取り調査を行う。	重要な地形及び地質の改変の程度を予測、調査結果、科学的な知見や類似事例を参考に予測	
⑧⑨その他の環境要素	日照障害	土地利用の状況、地形の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	等時間の日影線を描いた日影図により予測する方法	
	電波障害	テレビ電波（地上デジタル波を含む）の受信状況、テレビ電波の送信状況、高層建築物及び住居等の分布状況、地形の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	「建造物障害予測の手引き（地上デジタル放送）」（平成17年3月、（一社）日本CATV技術協会）等）に示される方法	
⑩動物	重要な種及び注目すべき生息地	動物相の状況、重要な種等の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	科学的な知見や類似事例を参考に予測	
⑪植物	重要な種及び群落	植物相及び植生の状況、重要な種及び群落の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	科学的な知見や類似事例を参考に予測	
⑫生態系	地域を特徴づける生態系	動植物種その他の自然環境に関わる概況、地域を特徴づける生態系の注目種・群集の状況について、既存資料調査及び現地調査を行う。	科学的な知見や類似事例を参考に予測	
⑬景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	主要な眺望点の状況、景観資源の状況、主要な眺望景観の状況について、既存資料調査、ヒアリング及び現地調査を行う。	図上解析、フォトモニタージュ法等による視覚的な表現方法による予測	
⑭人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	触れ合いの活動の場の概況、主要な触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況について、既存資料調査、ヒアリング及び現地調査を行う。	図上解析、触れ合いの活動の場の位置関係から定性的に予測	
⑮文化財	有形文化財・埋蔵文化財	文化財の状況（文化財の種類・位置及びその概要）について、既存資料調査及び現地調査を行う。	類似事例の引用又は解析による予測	
⑯廃棄物等	建設工事に伴う副産物	廃棄物等の種類ごとの発生・処分の状況について、既存資料調査を行う。	事業特性及び地域特性の情報を基に、建設工事に伴う廃棄物等の種類ごとの発生量、事業実施区域での再利用量及び事業実施区域外への搬出量を予測	

※長野県のみでの予測である。

環境影響評価準備書



① 大気質（二酸化窒素・浮遊粒子状物質・粉じん等）

工事の実施

■建設機械の稼働（予測地点 Y1～Y12）

環境保全措置として、「排出ガス対策型建設機械の採用」、「仮囲いの設置」、「散水」を実施することにより、すべての予測地点において、環境基準及び参考値以下になると予測されました。

さらに、「作業方法の改善」を実施することにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

環境保全措置

- 排出ガス対策型建設機械の採用
- 仮囲いの設置

- ◎散水
- ◎作業方法の改善

土地又は工作物の存在及び供用

■自動車の走行（予測地点 Y1～Y10）

すべての予測地点において、環境基準以下になると予測されました。

番号	予測地点	二酸化窒素(ppm)		浮遊粒子状物質(mg/m ³)	
		予測結果※ (日平均値の 年間98%値)	環境基準	予測結果※ (日平均値の 年間2%除外値)	環境基準
【山梨県区間】					
平面-Y1	長坂町大八田	下り 0.014	0.04～0.06 までの ゾーン内 又は それ以下	0.026	0.10 以下
断面-Y2	大泉町西井出1	上り 0.014		0.026	
		下り 0.015		0.027	
断面-Y3	大泉町西井出2	上り 0.013		0.026	
		下り 0.013		0.026	
断面-Y4	高根町村山北割	上り 0.014		0.029	
		下り 0.014		0.029	
平面-Y5	高根町堤	上り 0.011		0.029	
		下り 0.011		0.029	
断面-Y6	須玉町上津金	上り 0.011		0.029	
		下り 0.011	0.029		
平面-Y7	高根町清里1	上り 0.013	0.026		
		下り 0.013	0.026		
断面-Y8	高根町清里2	上り 0.014	0.026		
		下り 0.015	0.027		
平面-Y9	高根町清里3	上り 0.014	0.027		
		下り 0.015	0.027		
断面-Y10	高根町清里4	上り 0.016	0.027		
		下り 0.017	0.027		

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。

番号	予測地点	二酸化窒素(ppm)		浮遊粒子状物質(mg/m ³)		粉じん(t/km ² /月)	
		予測結果※ (日平均値の 年間98%値)	環境基準	予測結果※ (日平均値の 年間2%除外値)	環境基準	予測結果※ (季節別降下 ばいじん量)	参考値
【山梨県区間】							
Y1	長坂町大八田1	0.015	0.04～0.06 までの ゾーン内 又は それ以下	0.027	0.10 以下	1.4	10
Y2	長坂町大八田2	0.014		0.027		0.7	
Y3	大泉町西井出1	0.015		0.027		0.7	
Y4	大泉町西井出2	0.016		0.027		0.7	
Y5	大泉町西井出3	0.016 [0.020]		0.027 [0.027]		1.2～4.4 [4.5～15.9]	
Y6	高根町村山北割	0.012		0.029		1.4	
Y7	高根町堤	0.015 [0.019]		0.029 [0.029]		5.1～9.6 [18.6～35.3]	
Y8	須玉町上津金1	0.015		0.029		3.3～7.2	
Y9	須玉町上津金2	0.014 [0.019]		0.029 [0.029]		7.2～9.8 [26.4～35.8]	
Y10	高根町清里1	0.015 [0.018]		0.027 [0.027]		6.2～8.0	
Y11	高根町清里2	0.013		0.027		1.4	
Y12	高根町清里3	0.015 [0.019]		0.027 [0.027]		4.1～6.2	

※予測結果は、準備書に記載している評価値を示しています。また、予測結果の[]は、二酸化窒素の建設機械寄与と濃度の参考値、粉じんの参考値を超過した地点の、環境保全措置実施前の予測結果を示しています。粉じんについては、季節別の予測値の最小～最大を示し、値がひとつのものは値の季節変動がないものとなります。

■工事車両の運行（予測地点 Y1～Y7）

環境保全措置として、「工事車両の洗車」を実施することにより、すべての予測地点において、環境基準及び参考値以下になると予測されました。

さらに、「工事車両の分散」を実施することにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

環境保全措置

- ◎工事車両の分散

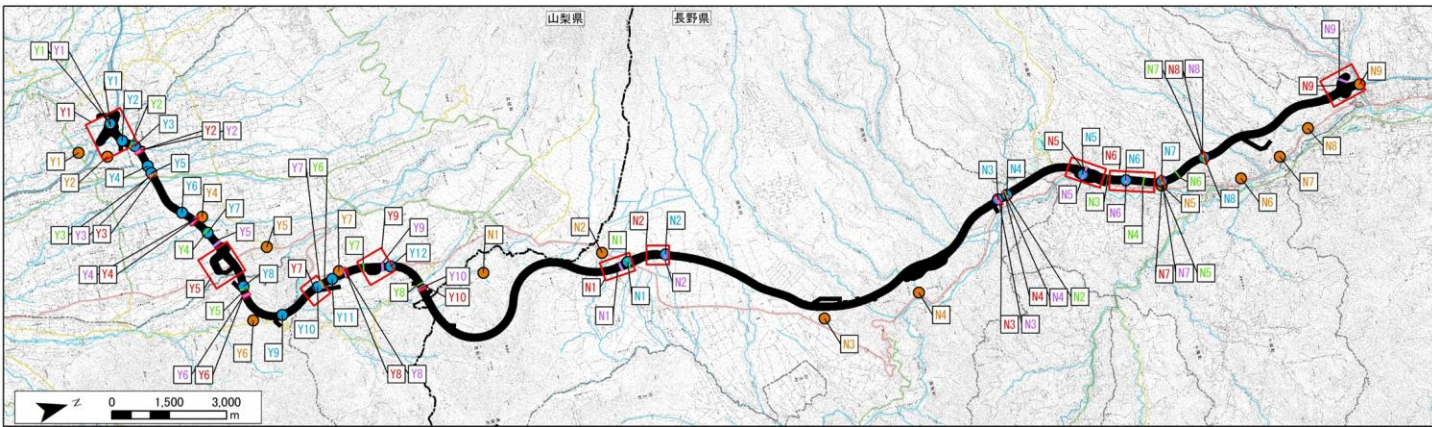
番号	予測地点	二酸化窒素(ppm)		浮遊粒子状物質(mg/m ³)		粉じん等(t/km ² /月)	
		予測結果※ (日平均値の 年間98%値)	環境基準	予測結果※ (日平均値の 年間2%除外値)	環境基準	予測結果※ (季節別降下 ばいじん量)	参考値
【山梨県区間】							
Y1	長坂町大八田1	0.014	0.04～0.06 までの ゾーン内 又は それ以下	0.026	0.10 以下	1.5～2.2	10
Y2	長坂町大八田2	0.013		0.026		0.5～1.3	
Y3	高根町五町田	0.013		0.026		3.6～7.9	
Y4	高根町村山北割	0.011		0.029		1.4～2.3	
Y5	高根町長澤	0.012		0.029		0.8～1.8	
Y6	須玉町上津金	0.011		0.029		0.1～0.2	
Y7	高根町清里1	0.013		0.026		0.5～0.8	

※予測結果は、準備書に記載している評価値を示しています。また、予測結果の[]は、粉じん等の参考値を超過した地点の、環境保全措置実施前の予測結果を示しています。粉じんについては、季節別の予測値の最小～最大を示しています。

用語の解説

- ・ ppm：1m³の空気中に1cm³の物質が存在する場合の濃度が1ppmとなります。
- ・ 日平均値の年間98%値：1年間の測定により得られた1日平均値のうち、低い方から98%に相当する値です。
- ・ 日平均値の年間2%除外値：1年間の測定により得られた1日平均値のうち、高い方から2%の範囲内にあるものを除外した後の最高値です。
- ・ 浮遊粒子状物質 (SPM)：大気中に浮遊する粒子状の物質（浮遊粉じん、エアロゾルなど）のうち、粒径が10マイクロメートル以下のものをいいます。
- ・ 粉じん：大気環境中に浮遊する微細な粒子状の物質のことです。
- ・ 降下ばいじん：大気中に排出されたり、風により地表から舞い上がった粒子状物質のうち、粒子が比較的に大きいために、自重で地上に落下（降下）するものや、雨や雪に取り込まれて地上に落下するものです。
- ・ 粉じん等の参考値：降下ばいじんにおいては、国が実施する環境保全に関する施策による基準又は目標は示されていません。なお、回避又は低減に係る評価については、建設機械の稼働による降下ばいじんにおける参考値として、10t/km²/月が考えられます。これは、次のようにして設定されたものとなります。環境を保全する上での降下ばいじん量は、スパイクタイヤ粉じんにおける生活環境の保全に必要な地域の指標を参考とした20t/km²/月が目安と考えられます。一方、降下ばいじん量の比較的高い地域の値は、10t/km²/月となっています。評価においては、建設機械の稼働・工事車両の運行による寄与を対象としていることから、これらの差である10t/km²/月を参考値としています。

環境影響評価準備書



② 騒音

工事の実施

■建設機械の稼働 (予測地点 Y1 ~ Y12)

環境保全措置として、「仮囲い等の設置」を実施することなどにより、すべての予測地点において、規制基準以下になると予測されました。
 さらに、「低騒音型建設機械の採用」、「作業方法の改善」を実施することにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

環境保全措置

- 低騒音型建設機械の採用
- 仮囲い等の設置
- 作業方法の改善

番号	予測地点	地上高さ	予測結果 (L _{Aeq})※	規制基準	単位: dB
Y1	長坂町大八田1	1.2m	79	85	
		4.2m	78		
Y2	長坂町大八田2	1.2m	72		
		4.2m	72		
Y3	大泉町西井出1	1.2m	74		
		4.2m	74		
Y4	大泉町西井出2	1.2m	71		
		4.2m	71		
Y5	大泉町西井出3	1.2m	79 [86]		
		4.2m	80 [86]		
Y6	高根町村山北割	1.2m	77		
		4.2m	77		
Y7	高根町堤	1.2m	76 [91]		
		4.2m	85 [91]		
Y8	須玉町上津金1	1.2m	79		
		4.2m	79		
Y9	須玉町上津金2	1.2m	85		
		4.2m	85		
Y10	高根町清里1	1.2m	82		
		4.2m	82		
Y11	高根町清里2	1.2m	77		
		4.2m	77		
Y12	高根町清里3	1.2m	80		
		4.2m	79		

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。また、予測結果の[]は、規制基準を超過した地点の、環境保全措置実施前の予測結果を示します。

■工事用車両の運行 (予測地点 Y1 ~ Y7)

すべての予測地点において、環境基準以下になると予測されました。
 さらに、「工事用車両の点検及び整備による性能維持」、「工事用車両の分散」、「環境負荷低減を意識した運転の徹底」を実施することにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

環境保全措置

- 工事用車両の点検及び整備による性能維持
- 工事用車両の分散
- 環境負荷低減を意識した運転の徹底

番号	予測地点	車両の通行ルート	地上高さ	予測結果※ (L _{Aeq})	環境基準	要請限度	単位: dB
Y1	長坂町大八田1	県道長坂高根線	1.2m	85	70		
			4.2m	83			
Y2	長坂町大八田2	市道大八田-西井出線	1.2m	83			
			4.2m	82			
Y3	高根町五町田	県道北杜八ヶ岳公園線	1.2m	87			
			4.2m	86			
Y4	高根町村山北割	市道村山東割-東井出線	1.2m	85			
			4.2m	83			
Y5	高根町長澤	一般国道141号	1.2m	70			
			4.2m	66			
Y6	須玉町上津金	県道清里須玉線	1.2m	55			
			4.2m	53			
Y7	高根町清里	一般国道141号	1.2m	69			
			4.2m	69			

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。

土地又は工物の存在及び供用

■自動車の走行 (予測地点 Y1 ~ Y10)

環境保全措置として、「遮音壁の設置」、「トンネル吸音板の設置」を実施することなどにより、すべての予測地点において、環境基準以下になると予測されました。

環境保全措置

- 遮音壁の設置
- トンネル吸音板の設置

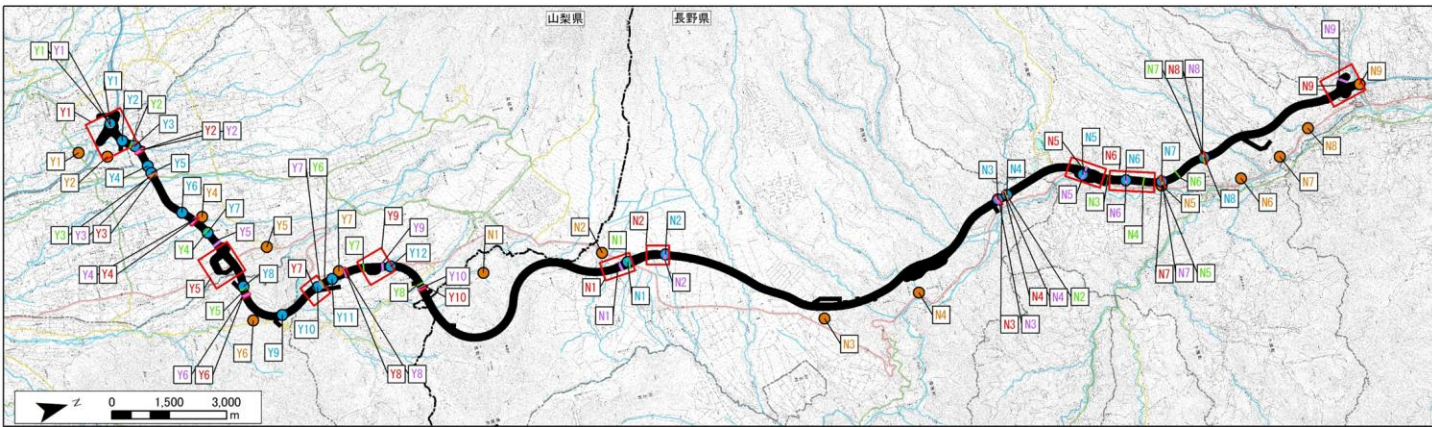
単位: dB

番号	予測地点	予測高さ	予測結果※ (L _{Aeq})	環境基準		番号	予測地点	予測高さ	予測結果※ (L _{Aeq})	環境基準		
				昼間	夜間					昼間	夜間	
平面-Y1	長坂町大八田	下	近接空間	1.2m	60	60						
			4.2m	60	60							
			背後地	1.2m	59	58						
			4.2m	59	58							
断面-Y2	大泉町西井出1	上	近接空間	1.2m	57[61]	55[60]						
			4.2m	58[64]	56[62]							
			背後地	1.2m	57[62]	55[60]						
			4.2m	57[63]	56[61]							
断面-Y3	大泉町西井出2	下	近接空間	1.2m	56[61]	54[59]						
			4.2m	59[66]	57[64]							
			背後地	1.2m	59[65]	57[63]						
			4.2m	60[68]	59[66]							
断面-Y4	大泉町西井出2	上	近接空間	1.2m	57	56						
			4.2m	57	56							
			背後地	1.2m	57	56						
			4.2m	57	56							
断面-Y5	大泉町西井出2	下	近接空間	1.2m	57	56						
			4.2m	58	57							
			背後地	1.2m	59	57						
			4.2m	59	58							
断面-Y6	高根町村山北割	上	近接空間	1.2m	59	57						
			4.2m	60	58							
			背後地	1.2m	59	57						
			4.2m	60	58							
平面-Y6	高根町堤	上	近接空間	1.2m	55	54						
			4.2m	56	54							
			背後地	1.2m	53	52						
			4.2m	53	52							
断面-Y7	高根町堤	下	近接空間	1.2m	59	58						
			4.2m	60	59							
			背後地	1.2m	60	58						
			4.2m	60	59							
断面-Y8	高根町清里1	上	近接空間	1.2m	45	47						
			4.2m	45	47							
			背後地	1.2m	48	47						
			4.2m	48	47							
断面-Y9	高根町清里2	下	近接空間	1.2m	48	47						
			4.2m	48	47							
			背後地	1.2m	49	48						
			4.2m	49	48							
断面-Y10	高根町清里3	上	近接空間	1.2m	53	51						
			4.2m	53	51							
			背後地	1.2m	53	51						
			4.2m	53	51							
断面-Y11	高根町清里2	下	近接空間	1.2m	55	53						
			4.2m	55	53							
			背後地	1.2m	58	56						
			4.2m	58	56							
平面-Y9	高根町清里3	上	近接空間	1.2m	59[67]	57[65]						
			4.2m	65[73]	63[71]							
			背後地	1.2m	59[66]	57[64]						
			4.2m	60[69]	58[67]							
断面-Y10	高根町清里4	下	近接空間	1.2m	67[67]	65[65]						
			4.2m	67[68]	65[66]							
			背後地	1.2m	63[64]	61[62]						
			4.2m	65[66]	63[64]							
平面-Y9	高根町清里3	上	近接空間	1.2m	66	62						
			4.2m	65	61							
			背後地	1.2m	55	51						
			4.2m	57	53							
断面-Y10	高根町清里4	下	近接空間	1.2m	46[71]	45[69]						
			4.2m	60[71]	58[69]							
			背後地	1.2m	52[67]	50[65]						
			4.2m	52[67]	50[65]							
断面-Y10	高根町清里4	上	近接空間	1.2m	66[69]	64[68]						
			4.2m	66[69]	64[67]							
			背後地	1.2m	57[62]	55[61]						
			4.2m	60[67]	58[65]							

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。また、予測結果の[]は、規制基準を超過した地点の、環境保全措置実施前の予測結果を示します。

用語の解説

- ・要請限度: 騒音規制法に基づき、市町村長が自動車騒音や道路交通振動が生活環境を著しく損なうと認めた際に、公安委員会へ交通規制などを要請するための環境省令で定められた基準値を指します。
- ・dB (デシベル): 音や振動の大きさを表す単位です。
- ・L A5: 騒音レベル (A特性) の90%レンジの上端値を示します。90%レンジは、多数個の騒音値を大きい順に並べた場合に、最高値と最低値の側からそれぞれ5%ずつ除外したものです。
- ・L Aeq: 等価騒音レベル (A特性) を示します。L Aeqは変動する騒音レベルのエネルギー量の平均値であり、不規則で大幅に変動する騒音の評価値の一つで、人の感じ方との対応が良いとされています。
- ・近接空間: 敷地境界より20m (2車線以下の既存道路については15m) 以内の地域を指します。
- ・背後地: 敷地境界から20m (2車線以下の既存道路については15m) 以遠の地域を指します。



③ 低周波音

土地又は工作物の存在及び供用

■自動車の走行 (予測地点 Y1 ~ Y8)

すべての予測地点において、参考値以下と予測されました。

単位: dB

番号	予測地点		予測結果※		参考値	
			L ₅₀	L _{G5}	L ₅₀	L _{G5}
Y1	長坂町大八田1	下り	54	65	90dB	100dB
Y2	長坂町大八田2	上り	63	72		
Y3	大泉町西井出	上り	70	79		
Y4	高根町堤	下り	61	70		
Y5	須玉町上津金	上り	64	72		
Y6	高根町清里1	下り	64	72		
Y7	高根町清里2	下り	62	70		
Y8	高根町清里3	下り	57	67		

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。

用語の解説

- ・低周波音: 人の耳には感知し難い低い周波数 (一般的に100Hz以下) の空気の振動を言います。
- ・L₅₀: 50%時間率音圧レベルを示します。音圧レベルの値を大きい順に並べた場合、ちょうど中央に位置する値を示します。
- ・L_{G5}: 5%時間率音圧レベル (G特性) を示します。G特性とは、一般的に人の耳には聞こえないとされる超低周波音 (20Hz以下の低周波音) の人体感覚を評価する指標です。

④ 振動

工事の実施

■建設機械の稼働 (予測地点 Y1 ~ Y12)

すべての予測地点において、規制基準以下と予測されました。

さらに、「低振動型建設機械の採用」、「作業方法の改善」を実施することにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

環境保全措置

- 低振動型建設機械の採用
- 作業方法の改善

番号	予測地点	予測結果 (L ₁₀)※	規制基準
Y1	長坂町大八田1	66	75
Y2	長坂町大八田2	63	
Y3	大泉町西井出1	63	
Y4	大泉町西井出2	63	
Y5	大泉町西井出3	57	
Y6	高根町村山北割	66	
Y7	高根町堤	59	
Y8	須玉町上津金1	50	
Y9	須玉町上津金2	62	
Y10	高根町清里1	55	
Y11	高根町清里2	63	
Y12	高根町清里3	67	

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。

用語の解説

- ・L₁₀: 振動レベルの80%レンジの上端値を示します。80%レンジとは、多数個の騒音値を大きい順に並べた場合に、最高値と最低値の側からそれぞれ10%ずつ除外したものです。

■工事車両の運行 (予測地点 Y1 ~ Y7)

すべての予測地点において、要請限度以下と予測されました。

さらに、「工事車両の分散」を実施することにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

環境保全措置

- ◎工事車両の分散

単位: dB

番号	予測地点	車両の通行ルート	予測結果 (L ₁₀)	要請限度
Y1	長坂町大八田1	県道長坂高根線	39	65
Y2	長坂町大八田2	市道大八田・西井出線	41	
Y3	高根町五町田	県道北杜八ヶ岳公園線	52	
Y4	高根町村山北割	市道村山東割・東井出線	40	
Y5	高根町長澤	一般国道141号	51	
Y6	須玉町上津金	県道清里須玉線	28	
Y7	高根町清里	一般国道141号	50	

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。

土地又は工作物の存在及び供用

■自動車の走行 (予測地点 Y1 ~ Y10)

すべての予測地点において、要請限度以下になると予測されました。

番号	予測地点		予測結果(L ₁₀)※		要請限度	
			昼間	夜間	昼間	夜間
Y1	長坂町大八田	下り	33	33	65	60
Y2	大泉町西井出1	上り	36	35	70	65
		下り	39	39		
Y3	大泉町西井出2	上り	45	44	70	65
		下り	45	44		
Y4	高根町村山北割	上り	31	30	65	60
		下り	36	35		
Y5	高根町堤	上り	46	45	65	60
		下り	46	45		
Y6	須玉町上津金	上り	45	44	(65)	(60)
		下り	45	44		
Y7	高根町清里1	上り	46	46	65	60
		下り	46	46		
Y8	高根町清里2	上り	33	33	65	60
		下り	50	50		
Y9	高根町清里3	上り	40	40	65	60
		下り	37	36		
Y10	高根町清里4	上り	43	42	65	60
		下り	41	40		

※予測結果については、準備書に記載している評価値を示しています。

注: 振動に係る要請限度の地域指定がなされていない地点については、現況の土地利用状況等を勘案して「第1種区域」を想定し、()で示しました。

⑤ 水質（水の濁り、水の汚れ）

工事の実施

■ 工事の実施（水の濁り）

工事の実施に伴う水の濁りが発生する可能性があるかと予測されますが、環境保全措置を講じることにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

環境保全措置

- ◎濁水処理施設の設置
- ◎速やかな転圧及び法面整形
- ◎シートによる被覆等の実施
- ◎河川への影響に配慮した施工

■ 水底の掘削等（水の汚れ）

水底の掘削に伴う水の濁り及び水の汚れが発生する可能性があるかと予測されますが、環境保全措置を講じることにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

環境保全措置

- ◎河川への影響に配慮した施工

用語の解説

・河川への影響に配慮した施工：河川内における基礎工事等において、濁水処理施設の設置や中和処理による工事排水の適切な処理等を行うことです。

⑥ 水象（河川）

工事の実施

< 計画路線が地上部で渡河する河川 >

- ・河川の改変を極力抑えるとともに、河川の機能を確保し、河川の流れを阻害しない河川幅を確保します。
- 橋脚の設置を予定している河川では、低水路に接しない位置に橋脚を設置するとともに、必要以上に橋脚の断面積を大きくしない計画として河川への影響を最小限にしています。よって、河川の流量はほとんど変化しないと予測されます。

< 計画路線がトンネル部で通過する河川 >

- ・計画路線がトンネル部で通過する河川のうち、河川水と地下水の関連性がない河川、又は河床がコンクリートによる三面張り構造である河川は、河川水の地下への浸透が抑制され、河川の流量はほとんど変化しないと予測されます。
- ただし、河床が自然溪流の一部の河川であり、河川水と地下水が連続している可能性がある河川は、河川の流量が変化する可能性があるかと予測されますが、環境保全措置を講じることにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

環境保全措置

- ◎観測修正法による最適な構造及び工法の採用

事後調査

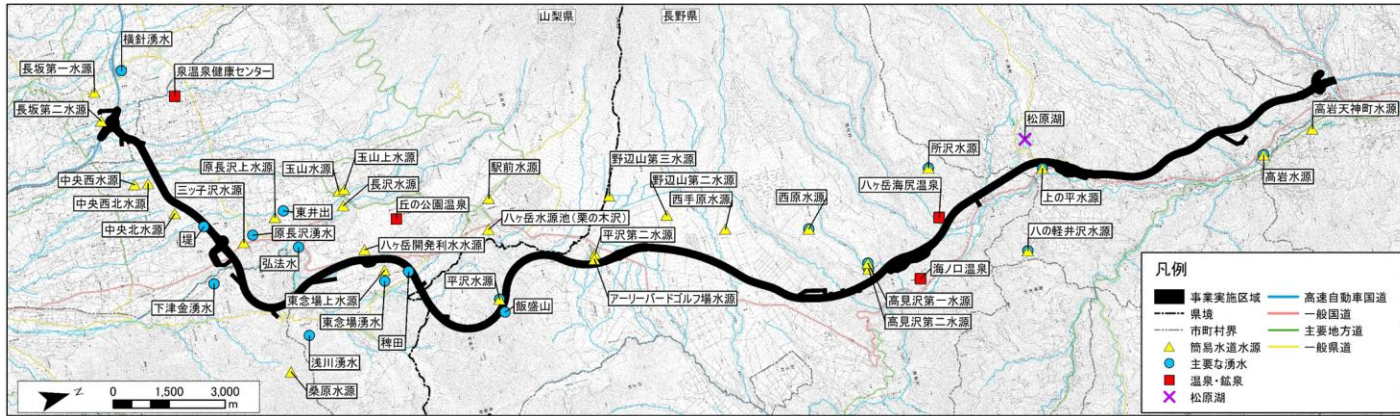
項目	調査項目	調査時期	調査地域	調査方法
水象（河川）	地下水の水位 トンネル内の湧水量 河川等の流量	工事前、工事中及び 完成後	河川水と地下水が連続し、河床が自然溪流の河川等の周辺	地下水観測孔による地下水の水位の観測、トンネル内で発生する湧水量の観測、河川等の流量の観測

用語の解説

・観測修正法による最適な工法の採用：工事前、工事中の地下水の状況を観測し、その結果を基に最適な施工方法を採用することです。

⑥ 水象（地下水）

工事の実施



項目	予測結果
	山梨県区間
水道の水源	山岳地を通過する事業実施区域においては、地形的に尾根と谷が交互に連続することから、各々のトンネル・切土区間は短く浅く、長い区間にわたって地下水の流動を阻害する道路構造は存在しません。このため、地下水への影響は全体的には小さいと考えられることから、トンネル区間に近接する水源を除けば、水位はほとんど変化しないと予測されます。東念場地区において、トンネル区間に比較的近い位置にある「東念場上水源(深)」は、断面二次元浸透流解析により、水位低下量は10cm未満と予測され、当該水源への影響は小さいと考えられます。
主要な湧水	山岳地を通過する事業実施区域においては、地形的に尾根と谷が交互に連続することから、各々のトンネル・切土区間は短く浅く、長い区間にわたって地下水の流動を阻害する道路構造は存在しません。このため、地下水への影響は全体的には小さいと考えられることから、トンネル区間に近接する湧水を除けば、湧水量はほとんど変化しないと予測されます。東念場地区において、トンネル区間に比較的近い位置にある「東念場湧水」は、断面二次元浸透流解析により、10cm程度の水位低下が予測されます。また、トンネル区間に近接する「稗田湧水」は、断面二次元浸透流解析により、10m程度の水位低下が予測されます。よって、湧水量が変化する可能性があると予測されますが、環境保全措置を講じることにより、環境負荷の回避・低減を図ります。
温泉源泉	「丘の公園温泉」は、温泉井戸が1400mあり、トンネル計画深度より深部の地下水を取水していると考えられるため、影響はないものと予測されます。「温泉健康センター」は、事業実施区域から1.5km近く離れているため、影響はないものと予測されます。よって、事業実施により温泉源泉の水位はほとんど変化しないと予測されます。
松原湖 (大月湖・猪名湖・長湖)	—

環境保全措置

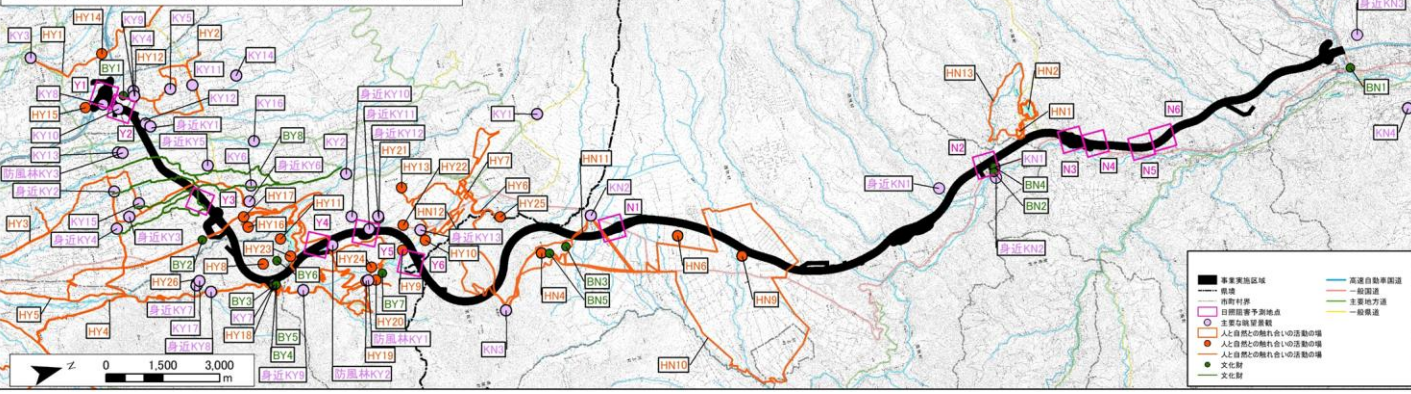
◎観測修正法による最適な構造及び工法の採用

事後調査

項目	調査項目	調査時期	調査地域	調査方法
水象(地下水)	地下水の水位 湧水の湧水量 トンネル内の湧水量 河川等の流量	工事前、工事中及び完成後	東念場地区、平沢地区及びその周辺	地下水観測孔による地下水の水位の観測、湧水の流量の観測、トンネル内で発生する湧水量の観測、河川等の流量の観測

環境影響評価準備書

日照障害、景観、人と自然との触れ合いの活動の場、文化財



【主要な眺望景観】(山梨県区間)			【人と自然との触れ合いの活動の場】(山梨県区間)			【文化財】(山梨県区間)		
KY1 奥しん農展望台	KY12 大泉町西井出	身近KY6 日北社市立高根北小学校	HY1 信玄原と観音平ハイキングコース	HY14 長坂総合スポーツ公園	BY1 深草跡跡			
KY2 ハケ岳高原大橋	KY13 高根町五町田	身近KY7 おいしい学校	HY2 大泉村ハイキングコース(歴史を暮るコース)	HY15 ほたるの里秋葉公園	BY2 坂輪町の道徳			
KY3 長坂コミュニティステーション	KY14 ニ子レイ工場前交差点	身近KY8 新緑神社	HY3 田園空間博物館フットパス(先人が築いた「あすた」の農業)	HY16 南ハケ岳 花の森公園	BY3 海岸寺の六地蔵板理			
KY4 余牛跡跡	KY15 共同墓地	身近KY9 玉川神社	HY4 田園空間博物館フットパス(休農と土・水の恵みの園)	HY17 道の駅 南きよさと	BY4 海岸寺の百位観音			
KY5 谷戸城址	KY16 レインボーライン	身近KY10 清里地区別荘地	HY5 田園空間博物館フットパス(歴史が伝える村人の暮らし)	HY18 海岸寺	BY5 海岸寺の観音堂			
KY6 船渡神社	KY17 おいしい学校駐車場	身近KY11 丘の公園入口交差点	HY6 「飯盛山」コース	HY19 赤タラの里公園	BY6 源大ヶ塚跡跡			
KY7 温泉寺	身近KY1 観音寺	身近KY12 牧場通り	HY7 清里フットパス	HY20 磨山親水公園	BY7 ハケ岳権理社のマツ			
KY8 長坂町大八田(長坂インター南側)	身近KY2 妻川伝説・巧匠舟斎料理館	身近KY13 日北社市立高根清里小学校	HY8 フッドベッカー	HY21 清里ボニー牧場	BY8 村山六ヶ塚跡跡水			
KY9 大泉町谷戸(長坂インター北側)	身近KY3 墓所(高根町村山北津)	防風林KY1 風切りの松(高根町清里)	HY9 清里中央オートキャンプ場	HY22 小杉野牧場				
KY10 長坂町大八田	身近KY4 北社市立高根東小学校	防風林KY2 防風林(高根町清里)	HY10 プレーンリゾートクラブ	HY23 清里湖畔(大7ダム)				
KY11 大泉郵便局	身近KY5 墓所(高根町東井出)	防風林KY3 防風林(高根町五町田)	HY11 大7ダム(清里湖周辺)	HY24 大泉				
			HY12 余牛道跡	HY25 宮司の池				
			HY13 清里丘の公園	HY26 おいしい学校				

⑦ 地形及び地質

土地又は工作物の存在及び供用

■ 道路の存在

山梨県区間では、実施区域は重要な地形及び地質を通過しないため、調査、予測及び評価は行わないこととしました。

なお、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域については、計画路線は通過する計画ですが、位置及び基本構造の検討段階から、それらに配慮した計画としています。

⑧ 日照障害

土地又は工作物の存在及び供用

■ 道路の存在 (予測地点 Y1 ~ Y6)

すべての予測地点において、参考値以下になると予測されました。

番号	予測地域	予測高さ	地形による日影時間	予測結果		参考値
				高架構造物設置後の日影時間		
【山梨県区間】						
Y1	長坂町大八田	1.5m	地形の影響なし	3時間以下	1階で4時間	
Y2	大泉町西井出	1.5m	地形の影響なし	日影は生じない		
Y3	高根町堤	1.5m	地形の影響なし	4時間以下		
Y4	高根町清里下念場	1.5m	地形の影響なし	1時間以下		
Y5	高根町清里下念場	1.5m	地形の影響なし	日影は生じない		
Y6	高根町清里	1.5m	地形の影響なし	日影は生じない		

⑨ 電波障害

土地又は工作物の存在及び供用

予測結果

山梨県区間

(仮称)長坂JCT~(仮称)高根IC周辺においては、住居等が存在するあるいは将来の立地が見込まれる地域に、道路から北西の方向に最大幅約400m、最大長さ約110mの範囲で電波障害が発生すると予測されます。(仮称)高根IC~(仮称)清里ICにおいては、住居等が存在するあるいは将来の立地が見込まれる地域に、道路から北の方向に最大幅約1200m、最大長さ約70mの範囲で電波障害が発生すると予測されます。(仮称)清里IC~奥境付近においては、住居等が存在するあるいは将来の立地が見込まれる地域に、道路から北の方向に最大幅約600m、最大長さ約250mの範囲で電波障害が発生すると予測されます。

環境保全措置

◎高架構造物の上下部工の形式・配置等の工夫

⑩ 動物 ⑪ 植物 ⑫ 生態系

工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用

現地調査により、山梨県区間では、重要な動物 93種、重要な植物は 38種、重要な群落 2群落、長野県区間では、重要な動物104種、重要な植物 56種、重要な群落 4群落が確認されました。また、地域を特徴づける生態系は、現地調査結果を基に、「水田耕作地生態系」、「須玉川里山生態系」、「清里高原生態系」、「飯盛山生態系」、「野辺山高原生態系」、「小海里山生態系」を設定しました。予測結果は下表のとおり、一部の種で生息又は生育環境が保全されない可能性があるとして予測されますが、環境保全措置を講じることにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。

項目	予測結果
	山梨県区間
動物	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤマネ、ハチクマ、ツミ、オオタカ、フクロウの 5種は、工事の実施及び道路の存在による繁殖活動への影響が生じる可能性があり、生息環境は保全されない可能性があるとして予測されます。 ・その他の重要な動物については、生息環境に変化は生じない、または生息環境は保全されると予測されます。
植物	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な種であるヘラオモダカ、ホソバナアマナ、ハンノキ、サクラソウ、バアソブの 5種は、生育環境は保全されない、または生育環境は保全されない可能性があるとして予測されます。 ・その他の重要な植物及び重要な群落については、生育環境に変化は生じない、または生育環境は保全されると予測されます。
生態系	<ul style="list-style-type: none"> ・上位の注目種のオオタカ及びフクロウについて、生息環境が保全されない可能性があるため、「須玉川里山生態系」及び「清里高原生態系」は、保全されない可能性があるとして予測されます。 ・その他の生態系については、生息・生育基盤及び生息・生育環境は保全されると予測されます。

環境保全措置

【動物・生態系】

- ◎ 工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用
- ◎ 工事工程の検討及び段階的な工事の実施等（コンディショニング） ◎ 低騒音型建設機械の採用
- ◎ 濁水処理施設の設置 ◎ 河川への影響に配慮した施工 ◎ 観測修正法による最適な工法の採用
- ◎ 夜間工事照明の漏れ出しを防止するブラインド、扉の設置及び誘引性の低い照明の採用
- ◎ 道路照明の漏れ出しを防止した構造及び誘引性の低い照明の採用 ◎ 移動経路の確保（山梨県区間のみ）
- ◎ 代替営巣地の創出

【植物】

- ◎ 工事中・供用後の監視 ◎ 重要な植物種の移植又は播種 ◎ 濁水処理施設の設置 ◎ 河川への影響に配慮した施工

事後調査

項目	調査項目	調査時期	調査地域	調査方法
動物	ハチクマ、ツミ、オオタカ、フクロウの生息状況	工事前～工事中の調査対象の繁殖期	営巣地周辺	直接観察による生息状況の確認
	ヤマネの生息状況	工事中～供用後	アニマルパスウェイ等の設置地点、樹木植栽箇所	目視観察及び自動撮影装置による利用状況の確認
植物	移植又は播種した植物の生育状況	各種の生活史及び生育特性等に応じて設定	移植又は播種を講じた植物の生育地	移植又は播種を講じた植物の生育状況、並びに生育環境の状況確認
生態系	オオタカ及びフクロウの生息状況	工事前～工事中の調査対象の繁殖期	営巣地周辺	直接観察による生息状況の確認

用語の解説

- ・ 工事工程の検討及び段階的な工事の実施等（コンディショニング）：建設機械の稼働のピーク時期について、繁殖期間に配慮すること、及び施工を段階的に実施し、動物に対し建設機械の稼働に伴って発生する騒音に慣れさせることです。

⑬ 景観

土地又は工作物の存在及び供用

山梨県区間の計画路線周辺には、主要な眺望点17地点、身近な眺望点11地点、主要な防風林3地点、景観資源44地点が分布しています。予測結果は下表のとおり、一部の眺望景観に変化が生じると予測されますが、環境保全措置を講じることで、環境影響をできる限り回避又は低減します。

項目	予測結果
	山梨県区間
主要な眺望点の改変	主要な眺望点及び身近な眺望点、防風林については、計画路線による改変はありません。
景観資源の改変	景観資源については、「長坂」、「丘の公園通り」の2箇所、身近な自然景観として「田園風景」、「耕作地」、「山間部の新緑/紅葉」の3箇所において、改変される可能性があります。景観資源の価値を大きく損なうものではないと予測されます。
主要な眺望景観の変化	「金生遺跡」、「長坂町大八田(長坂インター南側)」、「大泉町谷戸(長坂インター北側)」、「長坂町大八田」、「大泉町西井出」、「高根町五町田」、「共同墓地」、「おいしい学校駐車場」、「観音寺」、「玉川神社」、「丘の公園入口交差点」の計11箇所からの眺望景観に変化が生じることから、これらの地点については主要な景観の特性の変化の程度は大きいと予測します。

＜丘の公園入口交差点＞



現況



供用後

環境保全措置

- ◎ 構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討
- ◎ 地形改変部（法面含む）の緑化

⑭ 人と自然との触れ合いの活動の場

土地又は工作物の存在及び供用

山梨県区間の計画路線周辺には、人と自然との触れ合いの活動の場が26地点分布しています。予測結果は下表のとおり、一部の地点の利用性、快適性に変化が生じると予測されますが、環境保全措置を講じることで、環境影響をできる限り回避又は低減します。

項目	予測結果	
	山梨県区間	
主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変	全ての予測地点において、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。	
利用性の変化	利用性の変化	「清里中央オートキャンプ場」、「金生遺跡」の2箇所では照明施設による星空観察の阻害が生じる可能性があります。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は高いと予測されます。
	到達時間・距離の変化	全ての予測地点において、アクセスルートは分断されません。よって、到達時間・距離の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
快適性の変化	計画路線から250m以内にあるバードウォッチングサイトの2箇所（「大門ダム(清里湖周辺)」、「清里湖畔(大門ダム)」）については、自動車の走行により生ずる騒音がバードウォッチングに影響を及ぼす可能性があります。よって、快適性の変化による影響が生じる可能性は高いと予測されます。	

環境保全措置

- ◎ 構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討
- ◎ 地形改変部（法面含む）の緑化
- ◎ 光害に配慮した道路照明の検討(山梨県区間のみ)
- ◎ 植栽等による道路の遮蔽(山梨県区間のみ)

⑮ 文化財

工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用

山梨県区間の計画路線周辺には、文化財が8地点分布しています。

すべての予測地点において、計画路線の明かり部（工事の実施区域）から離れているため、文化財そのものは改変されません。また、周辺環境は改変されないため、文化財及び周辺環境の雰囲気や利用環境の変化は生じないと予測されます。

また、工事施工ヤードの設置及び工所用道路等の設置により改変が予測される埋蔵文化財包蔵地については、これらの包蔵地における工事に先立ち、文化財保護法に基づき、必要な届出や協議を県教育委員会及び市町村教育委員会に行うなどの適切な措置を講じます。なお、工事の施工中に未周知の埋蔵文化財等が確認された場合は、速やかに教育委員会等関係機関に報告し、関係法令に基づき適切な措置を講じます。

⑯ 廃棄物等

工事の実施

事業の実施により、建設副産物として建設発生土、建設汚泥、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊及び建設発生木材が発生すると予測されますが、発生した建設副産物は法令等に基づき適正に処理・処分を行います。

【山梨県区間】

工事に伴い発生する建設副産物	発生量(m ³)	事業実施区域内での再利用率(m ³)	事業実施区域外への搬出量(m ³)
建設発生土	約 1,771,000m ³	約 1,761,000m ³	約 10,000m ³
建設汚泥	約 10,500m ³	-	約 10,500m ³
コンクリート塊	約 300m ³	-	約 300m ³
アスファルト・コンクリート塊	約 900m ³	-	約 900m ³
建設発生木材	約 6,000m ³	-	約 6,000m ³

環境保全措置

◎ 工事間流用の促進 ◎ 再資源化施設への搬入等による他事業等での利用

環境影響の総合的な評価

本環境影響評価では、都市計画対象道路事業について、影響要因の区分である「工事の実施」及び「土地又は工作物の存在及び供用」に関し、環境要素16項目（大気質、騒音、低周波音、振動、水質、水象、日照障害、電波障害、動物、植物、生態系、景観、人と自然との触れ合いの活動の場、文化財、廃棄物等）を選定し、調査、予測及び評価を行いました。

本対象事業においては、計画路線のルート位置の検討段階から環境保全に配慮しており、各環境要素について事業予定者が実行可能な範囲内で環境保全措置を講じることにより、計画路線が周辺の環境に及ぼす影響についてできる限り回避又は低減が図られています。

また、水象、動物、植物、生態系については、環境保全措置の内容をより詳細なものにするため、事後調査を実施し、専門家等の指導・助言を得ながら適切な措置を講ずることとします。

このことから、計画路線に係る環境の保全について適正な配慮がなされていると評価します。

今後の詳細な計画検討にあたっては、環境影響評価の結果に基づき環境保全に十分配慮して行うとともに、事業実施段階及び供用後の周囲の生活環境（土地利用の変化）や自然環境の状況変化、規制区域及び環境基準の変更並びに交通量等について、関係機関と協力し、専門家等の意見を踏まえ、必要に応じて適切に把握するものとします。

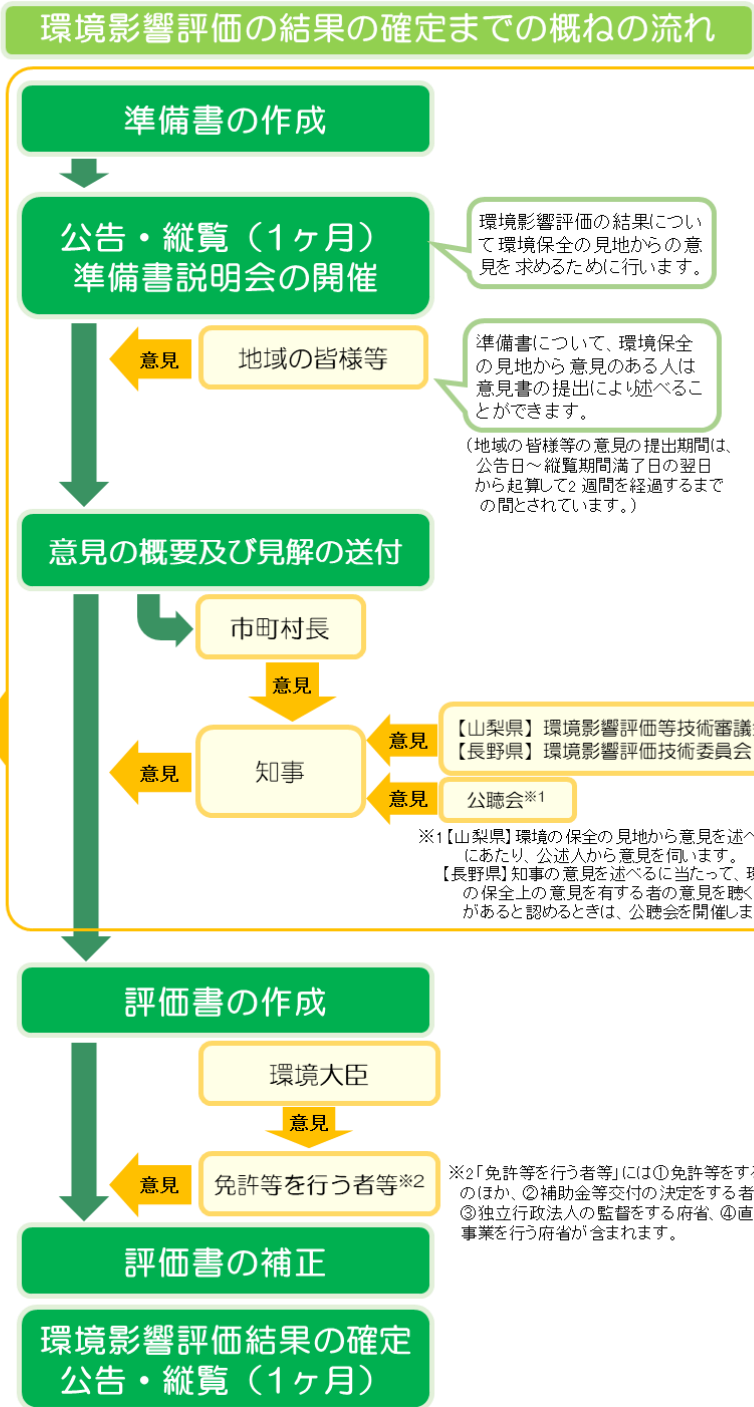
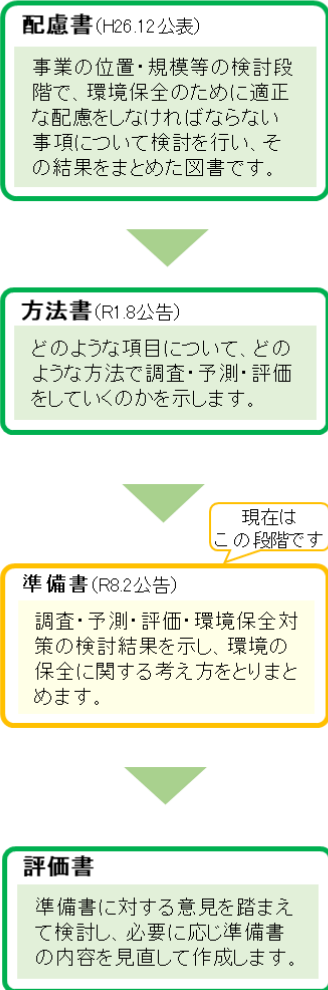
さらに、本環境影響評価では、環境に及ぼす影響を予測し、必要に応じて環境保全措置を講じることとしていますが、現段階で予測し得なかった著しい影響が見られた場合には、環境に及ぼす影響について調査し、専門家等の意見を踏まえ、必要に応じて適切な措置を講じます。

6. 環境影響評価の結果の確定までの概ねの流れ

今後は、地域の皆様や知事・市町村長よりいただいた意見を踏まえ、準備書の記載内容に検討を加え、必要に応じて準備書の内容を見直した上で環境影響評価書を作成します。

作成された評価書は、事業の免許等を行う者等と環境大臣に送付されます。環境大臣は必要に応じて事業の免許等を行う者等に意見を述べ、事業の免許等を行う者等はその意見を踏まえて意見を述べます。

環境影響評価の手続き



用地補償の流れ

道路事業を実施するためには、土地（事業用地）が必要となります。このため、道路事業を進める上で、地域の皆さまにご理解いただきながら、土地の確保に努めています。

地域の皆様のご理解、ご協力が魅力あふれた住み良い地域づくりへの第一歩となります。

事業着手

事業計画の説明

測量・調査を行うため、関係者や地域の皆さまに計画の概要や施工計画などの説明をします。



測量・調査・設計

現地状況を把握するための測量・調査を行います。また現地のデータに基づいて設計（S=1/1000）を行います。



設計・用地の説明

設計図を基に関係者や地域の皆さまに具体的な説明を行います。あわせて用地補償に関する考え方の説明を行います。



用地幅杭の設置

事業に必要な土地の範囲を明らかにするため、用地幅杭を打ちます。



土地・建物等の調査

お譲り頂く土地の面積、移転して頂く建物、塀や看板などの工作物、庭木や果樹などの立木を詳しく調査します。



土地調書・物件調書の確認

お譲り頂く土地や移転して頂く物件の数量などについて調書を作成し、内容を確認して頂きます。



補償の説明

ご確認頂いた調査結果をもとに、適正で公平な補償を行うため、事業者が定めた『補償基準』により補償金を算定し、補償の内容について説明いたします。



契約

補償の内容、建物移転、土地の引き渡し時期等についてご了承頂き、書面で契約させて頂きます。また、事業用地の登記手続きを行いますので、登記に必要な書類を提出して頂きます。



建物等の移転・土地の引渡し

建物、工作物、立木などを移転して土地を引き渡して頂きます。



補償金の支払い

土地の所有権移転登記が完了し、土地の引渡が完了した後に補償金をお支払いします。注)

注) 前払いの必要な方には、必要書類を提出して頂いた後、契約金額の70%以内の額をお支払いします。